

2005年1月1日から2025年3月31日までの間に東京科学大学病院で  
原発性肝癌、胆道癌に対する外科手術をお受けになった皆様へのお願い

当院では「原発性肝癌、胆道癌の腫瘍発生および進展に関わる因子の発現と機能解析」を実施しております。この研究は、原発性肝癌および胆道癌で発現している蛋白質を調べる研究です。研究の概要・目的・研究の方法は以下のとおりです。通常外科手術をされた場合、病理学的な検索が行われ、検体は一定期間保存しております。我々はこれらの保存されている原発性肝癌の検体を用いて研究を行います。通常の病理診断を終え保管されている検体のごく一部を使用する研究ですので、患者さんお一人ずつの直接のご同意を頂かずに、このお知らせをもって当院に通院中の患者さんからのご同意を頂いたものとして実施されます。また、この研究を施行するにあたり皆様にして頂くことは全くございません。研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加をご希望されない場合、研究に関するご質問は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

#### 【研究の概要について】

研究題名：原発性肝癌の腫瘍発生および進展に関わる因子の発現と機能解析

研究期間：研究実施許可日から2031年3月31日

研究責任者：形態情報解析学分野 副島 友莉恵

承認番号：M2000-2081 番

#### 【研究の意義・目的について】

原発性肝癌には肝細胞癌、肝内胆管癌（細胆管癌）、混合型肝癌が含まれます。また、胆道癌には肝門部胆管癌、遠位胆管癌が含まれます。これらの癌を病理組織学的に、さらには、蛋白質の発現を詳しく調べることにより、それぞれの癌の特徴と発生・進展機序を解明し、治療への臨床応用に貢献することを目的とします。

#### 【研究の方法について】

当院にて、2005年1月1日から2025年3月31日の期間に外科手術により病理学的に検索されたあとの、保存されている原発性肝癌および胆道癌の患者さんの検体を用いて研究を行います。具体的には、免疫染色という手法を用いて様々な蛋白質の発現を調べます。必要な情報（性、年齢、臨床診断、背景疾患、病理所見）を集め、形態情報解

析学分野で匿名化します。

#### 【研究協力の任意性について】

本研究への参加は患者さんおよびご遺族の意思でいつでも検体と診療情報の使用を中止することが出来ます。そのことによって不利益をこうむることはありません。下記の連絡先にご連絡下さい。

#### 【個人情報の保護と研究成果の公表について】

患者さんから得られた試料や診療情報は全て個人を特定する氏名、生年月日などの情報は削除して、本研究固有の通し番号を使うことにより匿名化します。また学会発表、学術論文として発表する場合にも個人が特定される情報は一切使用されることはありません。試料や情報は本研究のみに使用し他の研究への利用は行いません。

#### 【研究の資金について】

本研究は大学の運営費、文科省科研費（肝内胆管癌におけるインテグリンβ6制御分子の解析と治療戦略基盤の構築・副島友莉恵）を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

#### 【問合せ先等の連絡先】

東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 形態情報解析学分野

副島 友莉恵（そえじま ゆりえ）

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話 03-5803-5370（直通）（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話：03-5803-4547（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）